

良食味サツマイモ品種‘べにはるか’の多収技術

1 情報・成果の内容

(1) 背景・目的

弓浜砂丘地域におけるサツマイモは、白ネギとの輪作作物として栽培されている。近年、消費者による「味・おいしさ」へのこだわりが強くなると同時に焼き芋人気が高まり、これに対応した美味しい品種‘べにはるか’の導入が全国的に進んできている。そこで、収量確保のための適正な施肥量および収穫適期について目安を得たので紹介する。

(2) 情報・成果の要約

- 1) ‘べにはるか’は従来の主流品種‘高系14号’、‘ベニアズマ’と比較して窒素量を1.2~1.5倍に増加させると増収効果が認められる(～2016年)
- 2) 挿苗の時期にかかわらず、生育日数(挿苗から収穫までの日数)を100日以上確保することによって200kg/a以上の収量を確保できる。

2 試験成果の概要

(1) 試験方法

うね幅100cm黒マルチ被覆、株間30cmで6/上、6/下、7/中に挿苗し、9/下、10/上、11/上に収穫を行った。

施肥量は高系14号基準を基準として、窒素量が約1.2倍、1.5倍になるよう調整した。

ウイルスフリー苗を用いて栽培した。

		(2017年)	
		挿苗日	収穫日
		6月8日	9月21日
		6月29日	× 10月5日
		7月12日	11月5日
7月12日挿苗は9月21日収穫はなし			

表 施肥量(10aあたり)

区名	N	P	K
N1.0(高系基準)参考	5.6	14	14.1
N1.2(べにはるか基準)	6.5	15.4	17.9
N1.5(べにはるか増肥)	8.4	15.4	17.9

(2) 調査方法

各区2㎡を2カ所掘り取り、収量調査を行った。

(3) 試験結果

上物収量が200kg/a程度を下回ったのは、生育日数が90日未満の区であり、生育日数は100日以上を確保する必要があると考えられた。また、生育期間が長いほど収量は増加し、L、M規格の割合が高くなる傾向であった。

第1表 ベにはるかの収量性及び地上部重 (6月8日挿苗) (2017年)

窒素量(生育日数)	総収量		上物収量 ^z					平均芋重 (g/個)
			株あたり		上物率 (%)	a当たり換算収量		
	(個/株)	(g/株)	(個/株)	(g/株)		(個)	(kg)	
N1.2(109日)	9.4	764.4	5.6	660.2	59.8	1,879.1	219.8	117.0
N1.2(119日)	9.3	942.4	6.0	829.8	64.6	1,998.0	276.3	138.3
N1.2(146日)	8.9	1,513.5	6.9	1,464.0	78.2	2,307.2	487.5	211.3
N1.5(109日)	8.1	757.6	5.5	675.6	67.5	1,831.5	225.0	122.8
N1.5(119日)	8.4	839.1	5.8	772.2	69.2	1,926.6	257.1	133.5
N1.5(146日)	9.4	1,115.3	7.2	1,046.8	76.5	2,402.4	348.6	145.1

^z上物収量は変形、曲がり等を除いた2S規格以上(60g以上)を集計

第2表 ベにはるかの階級別収量^a(6月8日挿苗) (2017年)

窒素量(生育日数)	3L		2L		L		M		S		2S		L,M規格 の割合(%)
	(個)	(kg)	(個)	(kg)	(個)	(kg)	(個)	(kg)	(個)	(kg)	(個)	(kg)	
N1.2(109日)	0.0	0.0	0.0	0.0	47.6	13.8	356.8	68.1	523.3	63.6	951.4	74.3	37.3
N1.2(119日)	0.0	0.0	0.0	0.0	95.1	25.1	689.8	134.8	451.9	53.8	761.1	62.6	57.9
N1.2(146日)	23.8	15.4	118.9	54.1	475.7	152.0	832.5	158.7	618.4	79.1	237.9	28.1	63.7
N1.5(109日)	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	19.8	428.1	81.6	570.9	64.9	761.1	58.6	45.1
N1.5(119日)	0.0	0.0	0.0	0.0	47.6	15.5	547.1	103.1	737.4	93.9	594.6	44.7	46.1
N1.5(146日)	0.0	0.0	47.6	20.8	214.1	63.5	547.1	99.4	784.9	100.5	808.7	64.3	46.8

^aa当たり換算収量 規格：3L(600g～)、2L(400～600g)、L(250～400g)、M(150～250g)、S(100～150g)、2S(60～100g)

図1 6/8挿苗

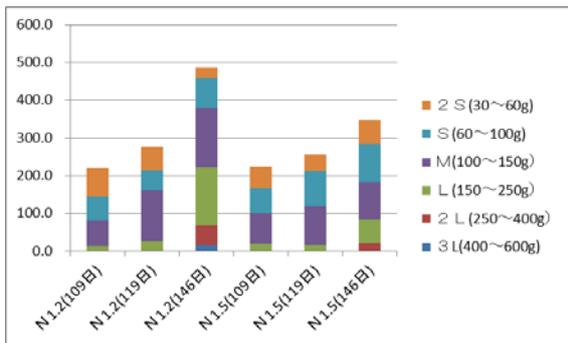
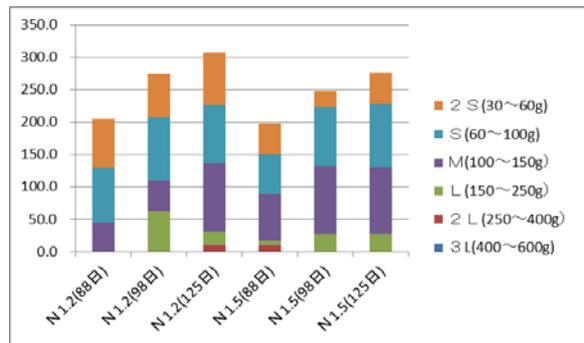


図2 6/29挿苗



3 利用上の留意点

図3 7/12挿苗

- 1) 本試験は、弓浜砂丘地域(砂質土壌)における試験結果であり、他の地域については別途検討が必要である。
- 2) 7月挿苗については挿苗時の高温、乾燥による活着不良、収穫時の気温低下や降霜による収量低下の危険性があるので注意が必要。

4 試験担当者

弓浜砂丘地分場 分場長 中村博行
主任研究員 谷口美保